

私立大学図書館協会 2015年度第2回常任幹事会議事要録

日 時：2015年12月4日（金） 15時00分～17時00分

場 所：福岡大学七隈キャンパス 文系センター 15階第7会議室

出席者：名簿のとおり

議事に先立ち、会長校挨拶に続き、12月1日より福岡大学図書館長に就任された有岡館長の紹介、出席者の自己紹介が行われた。議事進行は、東洋大学図書館長・青木辰司が担当した。

なお、本日の会議は限られた時間内に複数の協議事項を協議する必要があるため、議事次第の順番を変更し、協議事項、懇談事項、報告事項の順に進行するとの説明がされた。

[協議事項]

協議事項の順番について、予算に関連する協議事項が複数あるため、当初予定していた議事次第の順番を変更し、「2015年度一般会計・特別会計支出状況ならびに決算見込みについて」、「2016年度事業計画（案）」、「2016年度一般会計・特別会計予算（案）」を後半に協議するとの説明があった。

1. 第77回（2016年度）総会・研究大会について

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p.40～42）にもとづき、第77回（2016年度）総会・研究大会についての説明が行われた。大きな変更点として、8月25日総会の昼食時間に館長昼食会を実施すること、翌日の研究大会で国際図書館協力委員会が主催している国際シンポジウムを講演会として盛り込むことについて議論された。館長昼食会については、異議なく承認された。国際図書館協力シンポジウムは、総会の中で実施することは概ね了承とし、講演者にパネルディスカッションにも参加いただくことが可能かなどの提案がされた。講演者の都合、パネルディスカッションのテーマにより参加の可否の判断も必要なため、国際図書館協力委員会との調整事項となった。

2. 2016年度国際図書館協力委員会の活動について

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p.18～23）にもとづき、国際図書館協力委員会で検討された次年度の活動計画について、海外集合研修を取りやめ、海外認定研修を拡充していくことが提案された。海外認定研修の中で図書館総合展運営委員会、丸善㈱が企画運営しているALA・米国図書館研修の参加者に10万円を補助する案が提案され、補助金額を引き上げた方が参加者も増えるのではないかとの意見が出された。予算160万を上限とし、補助金額の増額が可能かは国際図書館協力委員会で検討いただき、検討結果を常任幹事会メンバーへ報告し、広報活動に入ることが承認された。

3. ホームページ委員会に関する事項

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p.43～47）にもとづき、HP委員会より提案されたITアドバイザー制度の説明がされた。加盟館より人材を募ることが了承されたが、募集の際に

は、いくつかのコンテンツに分けて募集する方が良いのではないかとの意見も出された。推薦が無い場合の専門業者への業務委託については、内容や金額をもう少し精査する必要があるとの見解が示された為、次年度の予算化はせず、再来年度を目途に調整を行っていくことが確認された。

4. 研修会・講演会等の開催に伴う補助制度について

会長校（東洋大学・青木）より配付資料（p. 48～50）にもとづき、新規で提案する研修会・講演会等の開催に伴う補助制度について説明された。

各地区・協議会からは、参加者研究会への旅費援助という希望もあるが、実質その補助をすることは条件や平等性も大変難しい状況であるため、提案の講師招聘に限定することでシンプル、かつ平等に申請が可能となるため制度としては良いとの意見がされた。

申請書について、代表大学以外に企画参加される大学名、開催の趣旨などを記述できる箇所を設けるか別紙にて提出を求めると良いとの意見や募集時期を2回に分けるなどが提案された。次回の第2回東西合同役員会にて予算化を行い、申請書等の改訂版を諮れるよう東西各地区から新制度提案に対する意見等を求め、次の提案に盛り込んでいくことが確認された。

5. 私立大学図書館協会総会議長の委嘱方法について

東地区部会長校（学習院大学・中村）より配付資料（p. 51～53）について説明を行った。

総会の議長選出方法について、現状では翌年度の東西の総会開催校から各1名が選出されているが、選出も複雑で負担も大きいことから、地区部会からの選出は避け、総会研究大会の開催校が次年度の総会議長を務めるという内容の案が提案され、2017年度の総会から適用することが承認された。

6. 「委員会活動費」運用内規について

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p. 54～55）にもとづき、「委員会活動費」運用内規の改訂について説明された。委員会の意見交換会への参加について、「会長校が必要性を認めた者（上限1名）」を追加することで、委員会の実務を担当している事務局担当者などが対象となるよう修正を行った。内容について、異議なく提案どおり承認された。

7. 2015年度一般会計・特別会計支出状況ならびに決算見込みについて

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料より、配付資料（p. 32～34）にもとづき、11月13日までの予算執行状況報告および今後の執行予定額を含む決算見込みについて、説明ならびに提案がされた。異議なく提案どおり承認された。

8. 2016年度事業計画（案）

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料より、配付資料（p. 35～36）にもとづき、説明ならびに提案がされ、異議なく提案どおり承認された。

9. 2016年度一般会計・特別会計予算（案）

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p. 37～39）にもとづき、説明ならびに提案がされた。主な変更箇所の提案として、一般会計の講師派遣費 35 万円を会長校 15 万円と総会研究大会の当番校 20 万円に分け予算化することが提案された。協議の結果、異議なく承認され、次回の東西合同役員会資料に反映していくことが確認された。

[懇談事項]

1. 次期役員校、総会当番校、委員会委員等の選出および東西地区部会総会日程について

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p. 56～67）にもとづき、次期役員校、当番校の各地区の状況確認、委員会委員の選出方法ならびに東西地区部会総会日程が確認された。

2. 2015 年度ホームページ委員会への検討事項について

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p. 68～72）にもとづき、会長校より HP 委員会に対し、業務委託先の作業実績の把握やホームページにおける加盟館管理、インフォメーションサービスの活用方法を検討事項として依頼していることの報告がされた。

3. NACSIS-CAT/ILL の軽量化・合理化について（基本方針案の要点）

これからの学術情報システム構築検討委員会

監事校（立命館大学・近藤）より配付資料（p. 73）にもとづき、NACSIS-CAT 軽量化・合理化のポイント、移行スケジュール、当面のスケジュールについて説明された。

4. 東西両地区部会への部会交付金の暫定振込みについて

会長校（東洋大学・千葉）より、口頭にて東西両地区部会への部会交付金について、脱退校、加盟校分を 8 月総会後に調整していたが、4 月の時点で見込み校数にて、部会交付金を振込むことについて確認された。

5. 総会・研究大会における意見交換会来賓挨拶について

会長校（東洋大学・千葉）より、口頭にて㈱紀伊国屋、丸善㈱、㈱雄松堂の順番で挨拶を頂いていたが、丸善㈱と㈱雄松堂の統合により、㈱紀伊国屋と丸善㈱の 2 社に対して隔年で挨拶をお願いしていくことが確認された。

6. 機関リポジトリ新協議会（仮称）設立趣意書について

監事校（明治大学・菊池）より、機関リポジトリ新協議会設立について、来年の 4 月から設立し、会員を募集し、更に翌年より会費を徴収し運営を行っていく旨の報告がされた。

[報告事項]

1. 協会会務報告

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p. 4～6）にもとづき、報告が行われた。

2. 東地区部会会務報告

東地区部会長校（学習院大学・中村）より配付資料（p. 7～8）にもとづき、報告が行われた。

3. 西地区部会会務報告

西地区部会長校（福岡大学・井口）より配付資料（p. 9～16）にもとづき、報告が行われた。

4. 委員会報告

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p. 17～24）にもとづき、報告が行われた。

5. 協会関連事項報告

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p. 25～26）にもとづき、報告が行われた。

6. 2015 年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p. 27～30）にもとづき、日本図書館協会の代議員について福岡大学図書館長の変更があった旨の報告がされた。

7. 2016 年度行事・会議予定

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p. 31）にもとづき、報告が行われた。

以上、すべての議事を終了し、議長が閉会を宣した。

以上

< 配付資料 >

1. 「私立大学図書館協会 2015年度第2回常任幹事会」 (P. 1～73)

(別添)

第79国公立大学図書館協力委員会会議資料 P. 1～104

機関リポジトリ新協議会（仮称）設立趣意書